

日本学生支援機構大学予約奨学金の申込について

予約採用申込み希望者は、令和7年 4月 25 日(金)までに、事務室へご連絡ください。

※この期日以降に申込みを希望する場合は、事務室まで相談してください。

1. 申込資格

2026 年度に大学等へ進学する希望を持っていて、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する人

(1)2026 年3月に高等学校等(本科)を卒業予定の人

(2)高等学校等(本科)を卒業後2年以内の人

※外国籍の人は、在留資格により申込資格に制限があります。

2. 予約奨学金の種類 (それぞれの種類・進学先・収入状況によって、金額は異なります。)

※詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

(1)給付奨学金 (返還不要)→ 評定平均値は各自、卒業時の担任へ確認してください

学力基準: 次の①・②のいずれかを満たす人

① 高等学校等における第1 学年から申込時までの評定平均値が、5段階評価で3.5 以上

② ①に該当しない場合、将来、社会で自立し、及び活躍する目標を持って、進学しようとする大学等における学修意欲を有することが確認できること。

【家計基準】

申請者と生計維持者について、日本学生支援機構が定める収入基準および資産基準のすべてに該当すること。

収入基準に該当するか JASSO の HP に掲載の「進学資金シミュレーター」で、おおよその目安として確認できます。

資産基準は申請者と生計維持者の資産額の合計が基準額 5,000 万円未満であること。

(2)貸与奨学金(返還が必要)

第一種(利子なし)

① 高等学校等における第1 学年から申込時までの評定平均値が、5段階評価で3.5 以上であること

②①に該当しない場合、経済的理由により特に修学に困難がある者であって、将来、社会で自立し、及び活躍する目標を持って、進学しようとする大学等における学修意欲を有することが確認できること。

第二種(利子あり)

高等学校等における申込時までの学習成績が平均水準以上である等。

【家計基準】

第一種・第二種・併用貸与→それぞれ、貸与額算定基準額以下であること(目安は日本学生支援機構のホームページを参照)

～予約採用申込みの流れ～

申請希望者には後日、**関係書類一式封筒**（マイナンバー提出書封筒を含む）に
スカラネット入力時に必要なユーザ ID・パスワードのプリントを入れてお渡します。

- ☐ 申込みの準備・確認 「申込みのてびき」 P3～P28



封筒内の「申込みのてびき」に申込みの流れが記載してあります。説明を読みながら、
申請・申告する内容を確認し、**太枠内の設問について記入・選択**します。
「申込みのてびき」に添付書類の指示がある場合は、書類を用意してください。
※（自署）の指示があるところは、その欄の該当者が自署する必要があるので注意してください。
・修正液や修正テープは使用せず、二重線で消して書き直してください。

- ☐ 必要書類の用意・スカラネットにて申込情報・マイナンバーの提出
「申込みのてびき」 P29～P44



P36～のスカラネット入力の流れに沿って、冊子の P7～P28 にあらかじめ記入した内容を見ながら入力を進めてください。
該当者のみ「申込みのてびき」P48 の**提出書類一覧表【様式①】**を（指示がある場合は添付書類を添えて）、事務室まで提出してください。
P40 の「申込完了」画面が表示された後、「個人番号（マイナンバー）の提出等」ボタンが押せるようになるので、流れに沿って入力してください。
・入力時に、希望者に配布される書類一式封筒に同封のプリントに記載のユーザ ID・パスワードと、「**奨学金確認書兼地方税同意書**」に印刷されている「**申込み ID**」「**パスワード**」の両方が必要になります。



マイナンバー提出（スカラネット入力）完了後、1週間以内に、
「**奨学金確認書兼地方税同意書**」を青色の提出用封筒に入れ郵便局から**簡易書留**で
日本学生支援機構宛に提出してください。
※学校には提出しないでください。

※選考結果通知は、10 月下旬以降（予定）に届きます。

.....き り と り せ ん.....

- 日本学生支援機構大学予約奨学金の申込みを希望します。

令和 7年 月 日
50・51 回生 申請者_____